

2022年度研究業績一覧

宇都宮みのり

①著書・論文

- ・「1920年代における「精神病患者救済の公衆問題」—『精神病患者救済会々報』の分析を通して—」(共著：宇都宮みのり・坂倉智大・中村征人)『人間発達学研究』14号, pp. 11-24, 2023年2月
- ・「1930年における「社会問題としての精神病」—中央社会事業協会主催の懇談会分析を通して—」『社会福祉研究』第24巻, 愛知県立大学教育福祉学部社会福祉学科, pp. 15-24, 2022年12月
- ・「コロナ禍における精神保健福祉援助実習指導及び実習の取組」『社会福祉研究』第24巻, 愛知県立大学教育福祉学部社会福祉学科, pp. 1-6, 2022年12月
- ・「ひきこもり状態にある人への理解と支援」(共著)山本理絵・望月彰・愛知県立大学「教育福祉学研究会」編著『教育と福祉が出会う支援—子ども・教師・専門職がつながる学校・地域をめざして—』溪水社, pp. 188-199, 2023年3月
- ・「社会福祉学領域における精神障害者に関する歴史研究の動向」(共著)社会事業史学会創立50周年記念論文集刊行委員会・社会事業史学会編『戦後社会福祉の歴史研究と方法—継承・展開・創造 第2巻〈理論・総括〉』近現代資料刊行会, pp. 369-400, 2022年10月

大賀有記

①著書・論文

- ・「身近な人の死に直面した子どものグリーフサポート」山本理絵・望月彰・愛知県立大学「教育福祉学研究会」編著『教育と福祉が出会う支援—子ども・教師・専門職がつながる学校・地域をめざして—』溪水社, pp. 83-93, 2023年3月

金 碩浩

①著書・論文

- ・「介護保険制度の需要の価格弾力性の推定—パネルデータによる検証—」『金城学院大学論集社会科学編』19巻1号, pp. 1-25, 2022年9月

②口頭発表

- ・「韓国におけるプラットフォーム労働者の現状」貧困・生活保護制度問題研究会(大谷大学), 2022年11月13日

慎 少帥

①著書・論文

- ・「Definition and assessment of physical literacy in children and adolescents: a literature review」(共著：Ke DanDan・Suzuki Koya・Kishi Hidetada・Kurokawa Yusuke・Shen Shaoshuai)『The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine』11巻, 3号, pp. 149-159, 2022年5月
- ・「Field-based physical fitness assessment in preschool children: A scoping review」(共著：Dandan Ke・Remili Maimaitjiang・Shaoshuai Shen・Hidetada Kishi・Yusuke Kurokawa・Koya Suzuki)『Frontiers』10巻, pp. 939442, 2022年8月

田川佳代子

①著書・論文

- ・「オランダで開発された『インフォーマル・ケア・スキャン・エイド』を通してみる家族介護者支援と日本への示唆」『愛知県立大学教育福祉学部論集』第71号, pp. 87-99, 2023年2月
- ・「ソーシャルワークとは」山本理絵・望月彰・愛知県立大学「教育福祉学研究会」編著『教育と福祉が出会う支援—子ども・教師・専門職がつながる学校・地域をめざして—』溪水社, pp. 18-28, 2023年3月

高柳瑞穂

①著書・論文

- ・研究報告書『これからの保育を考える—保育におけるESD “think globally, act locally” の実践から—』(高柳瑞穂編, 岡秀樹・仙田孝・内藤知美・生田久美子・安村清美著), 田園調布学園大学大学院, 総74頁, 2023年4月

野田博也

①著書・論文

- ・「愛知県における子どもの学習—生活支援事業と地域未来塾の動向：自治体及び運営担当者に対するアンケート調査を手がかりとして—」(共著：寺谷直輝・野田博也)『社会福祉研究』第24巻, 愛知県立大学教育福祉学部社会福祉学科, 2022年12月
- ・「社会的不利を経験する人々の金融ケイパビリティ」『季刊個人金融2023年冬号』pp. 32-40, 2023年2月
- ・「家計改善支援事業は利用者の自由・自律を損なうの

か? : 関係法令通知に規定された事業設計に着目して」『人間発達学研究』14, pp. 53-63, 2023年3月

②口頭発表

- ・「愛知県における子どもの学習・生活支援事業と地域未来塾の動向：自治体及び運営担当者に対するアンケート調査を手がかりとして」(共同：寺谷直輝・野田博也), 日本社会福祉学会中部地域ブロック部会(オンライン開催), 2022年4月16日

橋本 明

①著書・論文

- ・「社会と市民からの忘却と無関心にあらがう—精神障害者への医療・福祉に関する住民理解—」山本理絵・望月彰編著『教育と福祉が出会う支援—子ども・教師・専門職がつながる学校・地域をめざして—』溪水社, pp. 211-222, 2023年3月
- ・「衛生・医療史研究の方法論の回顧と展望—精神医療史から社会事業史への接点をさぐる—」社会事業史学会創立50周年記念論文集刊行委員会編『戦後社会福祉の歴史研究と方法—継承・展開・創造 第2巻〈理論・総括〉』近現代資料刊行会, pp. 339-368, 2022年10月
- ・Alcoholism, family and society in post-WWII Japan. Waltraud Ernst and Thomas Müller (eds.): Alcohol, psychiatry and society: Comparative and transnational perspectives, c. 1700-1990s. Manchester University Press, pp. 280-307, 2022年11月
- ・「中村古峡と中村古峡療養所—戦前の私立精神病院の役割—」『愛知県立大学教育福祉学部論集』第71号, pp. 39-50, 2023年2月
- ・「琉球精神衛生法下(1960-1972年)の精神医療—貧困と医療費をめぐる諸問題—」『社会福祉研究』第24巻, 愛知県立大学教育福祉学部社会福祉学科, pp. 25-41, 2022年12月
- ・「隠され続けた私宅監置: 「隠したい」と「隠せない」のはざまで揺れる」『響き合う街で』第102号, pp. 19-22, 2022年8月

②口頭発表

- ・「戦後台湾精神医療史 精神衛生法成立(1990年)まで」第25回日本精神医学史学会(信州大学医学部, 松本市), 2022年10月15日
- ・「沖繩戦とトラウマ」に関する研究史」第123回日本医史学会総会・学術大会(愛媛県医師会館, 松山市), 2022年5月14日

松宮 朝

①著書・論文

- ・「寺院のおみくじに関する意識調査」『人間発達学研究』14, pp. 103-111, 2023年2月

②口頭発表

- ・「コロナ禍以降の調査研究と教育実践の課題と展開可能性」北海道社会学会大会シンポジウム(オンライン開催), 2022年6月11日
- ・「地域社会の多文化共生を巡る協同の取り組みシンポジウムコメント」東海社会学会研究例会シンポジウム(愛知県立大学サテライトキャンパス), 2022年12月11日

森川夏乃

①著書・論文

- ・「親の子どもへの期待と問題解決パターンとの関連」『愛知県立大学教育福祉学部論集』71号, pp. 57-63, 2023年2月
- ・「起立性調節障害」『Interactional Mind』15号, pp. 50-56, 2023年1月
- ・「起立性調節障害の子どもを持つ親の症状経過に伴う心理変容過程の検討」『心理臨床学研究』40号(3), pp. 200-212, 2022年8月

②口頭発表

- ・「保護者の逆境的小児期体験が子どもの問題行動に及ぼす影響」(共同：森川・板倉・狐塚), 日本心理臨床学会第41回大会(オンライン開催), 2022年9月2~25日

山本かほり

①著書・論文

- ・「『北朝鮮言説』と朝鮮学校—朝鮮高校無償化裁判を通じて—」『東海社会学年報』第14号, pp. 15-26, 2022年7月

②口頭発表

- ・「『在日朝鮮人を生きる—〈祖国〉〈民族〉そして日本社会の眼差しの中で』(山本かほり著 三一書房, 2022年)の問題意識から」ミニシンポジウム「朝鮮学校と祖国という問題」(朝鮮大学校在日朝鮮人問題研究所主催, 朝鮮大学校), 2023年2月3日

渡邊かおり

①著書・論文

- ・「社会事業の運動史—戦前・戦後の運動の相違と連続性—」社会事業史学会創立50周年記念論文集刊行委

員会編『戦後社会福祉の歴史研究と方法—継承・展開・創造 第2巻〈理論・総括〉』近現代資料刊行会, pp. 117-146, 2022年10月

- ・「阿部和子の保育運動への歩み—戦前の活動に焦点をあてて—」『愛知県立大学教育福祉学部論集』第71号, pp. 79-85, 2023年2月
- ・「福祉教育の広がり」と地域福祉の役割」山本理恵・望月彰・愛知県立大学「教育福祉学研究会」編著『教育

と福祉が会う支援—子ども・教師・専門職がつながる学校・地域をめざして—』溪水社, pp. 178-187, 2023年3月

②口頭発表

- ・「東京における社会事業関係者の検挙—特高第一課「検挙索引簿」の分析を中心に—」社会事業史学会第50回記念大会（オンライン開催）, 2022年5月15日